

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 2科目で120分

## 解答形式

マーク, 計算, 記述

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加) 大問1は減少したが, 大問2と3が増加した。難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

## 出題の特徴

難しい問題は少ないが, 計算を伴う問題が多く, 120/2分では時間的な余裕はない。

## その他トピックス

〔I〕の各設問がA, B, Cの3つを答える形式からA, Bの2つに減少した。

〔III〕(2)の示性式の書き方に戸惑ったと思われる。

## &lt;大問分析&gt;

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔I〕	マーク 計算	小問集合	化学基礎 化学	(1) 酸化数, 元素の周期律 (2) 分子間力と物質の沸点 (3) 気体 (4) 気相平衡 (5) 銅の化合物 (6) 溶解度積 (7) 気体の製法と反応量 (8) エタノールとフェノールの性質 (9) 二糖と単糖, アルコール発酵 (10) アミノ酸の性質, 分子量の算出	易 やや易 標準 標準 標準 標準 標準 標準 やや易 標準
〔II〕 (1)	マーク 記述 計算	理論	化学基礎 化学	ダニエル型電池 電極電位, 金属の単体の性質	標準
(2)	マーク 記述 計算	理論	化学	水素-酸素燃料電池 エネルギーの変換効率の算出, 固体高分子膜の働き, ダイレクトメタノール燃料電池	標準
〔III〕 (1)	マーク 記述 計算	有機	化学	C <sub>6</sub> H <sub>10</sub> の環式炭化水素の構造決定 高分子化合物	標準
(2)	記述	有機	化学	ジグリセリドの構造決定	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

ほぼ全範囲から出題されるので、苦手分野をなくし、幅広く学習する必要がある。基礎知識を確実に身につけ、標準的な問題の演習を十分に行うこと。また、計算問題が多いので、効率よく計算する訓練をしておくこと。酸化還元, 反応速度は頻出である。